

38. 積極性を育てるには

【問い】 通信票の学校から家庭への欄に「もっと積極性があると大変よい」と書かれました。家庭でも努力して積極性を育てたいと考えていますので、よい方法を教えて下さい。

【答え】 積極性とはものごとに対してこれを肯定し、進んで働きかけ、取り組んでいく行動の状態といわれています。

お子さんの場合、おそらく学校の生活において①いつでもお友達のあとについて行動する②何事も自分で決められない③わかっている手を挙げて答えようとしない④休み時間にひとりでぼんやりしていることが多い⑤いつもお友達の後ろにかくれて目立たない…などのことがみられるので、先生は通信票に積極性がほしいことを願って、書かれたのだと思います。

それでは、積極性を育てるためにどうすればよいかを考えてみましょう。①親の態度として過保護・過干渉になっていないかを反省し、お子さんに自分のことは自分でやる習慣をつけさせる②どんなお子さんでも必ず良い点があるはずですのでその良い点を認め助長してやり、自信をつけさせてやる③進んでやったことに対しては、たとえ失敗してもしからず、勇気づけ、励ましてやる④お子さんが年齢相応にできることは、自分で目標や計画がたてられるように助言してやる⑤どんなことでも積極的にやったら、感情をこめて大いにほめてやる⑥家庭では、家族の一員として分担する仕事をきめ、お手伝いをきちんとやらせる⑦積極性のあるお子さんをお友達にさせ、勉強や遊びをともにするなどです。

これらのことを全部やろうとしても難しいと思います。日常のお子さんの行動から、お子さんに合うのはどれかを考え、取捨選択し、長い目でみて実行してみたいかがでしょうか。